

# JRCスタッフの ~2017年 daily ~

## ≪ 常務執行役員：木本 史晴 (1995年4月入社) ≫

中学校1年生の時、友人と一緒に海老名市ジュニアリーダーズクラブというクラブに入会した。

このクラブでは中学生と高校生が中心に構成されていて、毎月の定例会で課題を解決する力を養ったり、子供会からのイベントの手伝い要請について、要請の内容の確認、安全に行うにはどうすれば良いのか、楽しんでもらう為に、なにをするべきか、などをみんなで話し合い、決定していきます。

もちろんアドバイザーとして大人の方もいますので、横道にそれた時に軌道修正やアドバイスをしてくれることもありました。

また自分たちに必要な知識や技術を向上させるため、今は少なくなってしまう「県の青少年の家」などで、レクゲーム研修、キャンプファイヤー研修、グループワークトレーニング研修、野外炊事研修等を年間スケジュールに沿って行います。

内容は、ボウイスカウトに近いかもしれませんが、少しソフトな形がジュニアリーダーかもしれません。レクゲームの練習発表や、今自分が思う事、みんなに考えてもらいたい事を各人が発表する時間もあり、野外炊事などの楽しい一面以外の研修や、一番の盛り上がりを見せるキャンドルファイヤーの、静⇒動⇒静の流れに沿ってゲームを構成する難しい研修など、本当に為になる研修でした。

このクラブには高校卒業するまでお世話になりましたが、当然、中学生や高校生の男の子と女の子がいるわけですから、そこから恋愛に発展することもしばしばあり・・・

まあ、今振り返れば、いろんな意味で思い出深い、そして今の自分の糧になった素晴らしいクラブだったと思います。

そんな海老名市ジュニアリーダーズクラブも今年創立30年を迎え、2月4日に式典が開催されました。

今後35年、40年と長く続き、未来の子供たちにバトンをつないでもらいたいと思っています。

今は、当時一緒に活動をさせていただいた方が事務局となって活動しています。ぜひ頑張ってください。



## ≪ 営業課長：木村 幸美 (2003年2月入社) ≫

3月の初旬、我が家の愛犬サンタ君のお友達、ゴールデンレトリバーのアンコちゃんが天に召されました。

去年の夏過ぎに病気が分かり、お薬を飲みながらも元気に過ごしていただけたことに突然のことでとても悲しいです。

サンタとアンコの出会いは夫と義理の妹夫婦がバイクの練習に行ったときでした。それから数ヶ月経ったころ、アンコ家族と自宅近くで遭遇し、ご近所さんだったことが発覚しました。

後にワンちゃんが苦手なアンコがサンタに猛烈アピールをされて引いている姿が、とても印象深かったと夫とアンコの家族から聞きました。

それから7年間、家族ぐるみのお付き合いが始まり、毎年2回は大勢で合宿と称してキャンプに行ったり、事あるごとに集合しては食事をしたりと、一緒に行けるところには必ずサンタとアンコを連れて行っていました。

2匹とも一緒にいることが当たり前になったのか、シニア犬の仲間入りをしたせいかは分かりませんが、一緒に寝たりして仲良くしていただけたことに、とても残念です。

まだ気持ちが追い付かないところがありますがサンタとアンコが2家族の出会いの縁を結んでくれたと私は思っています。

アンコ、ありがとね！

寂しそうなサンタ・・・



## ≪ 営業課長：小日向 昭弘 ≫ (2003年5月入社)

昨年引退した「ハマの番長」こと、三浦 大輔元投手と同年の私ですが、昨年は横浜DeNAベイスターズに球団名変更後、初めて横浜スタジアムに足を運びました。

「最近のベイスターズの試合は、花火が上がったり、イベントも色々行っていて昔のイメージと全然違うから驚くよ！」との話でしたの

で、期待に胸を膨らませて会社を早く帰らせてもらい、球場に足を運びました。

1998年に優勝した時には、日本シリーズのチケットを購入するために、電車の始発前に球場に車で向かい、並んでチケットを購入したことも懐かしい思い出です。

あまり乗り気で無かった私に対して、その時の口説き文句は、このチャンスを逃したら生きていくうちにベイスターズの日本一見れないよ！でした。

その予言が的中したのか、2000年以降9度の最下位、Bクラスに落ちたことがきっかけで、自然と球場に足を運ぶ機会も無くなりました。

2012年横浜DeNAベイスターズになった時も世間の風潮と同じように眉唾な気持ちで見えていました。

そこから常識破りの球団改革と言われる、ファンを呼び込む色々なアイディアで、チケットが取りにくい一二を争う人気球団になったことはご存知と思います。「常識破りの改革」で優勝する日も近いかな？



## ≪ 設計監理課：清水 豪 ≫ (2011年3月入社)

4月に入りまして大分暖かくなって参りました。

今年は例年より冬らしい寒い日が少なかったように感じます。そして気が付いたら桜が咲き始めて冬の終わりを実感した様な感じですね。

しかし、時の流れが早く感じたのは、気候の緩やかさが原因ではなく、今年1月9日に産まれたばかりの姉と義兄さんの赤ちゃんが家に来ていて、ドタバタしていたことがあると思います。

私の赤ちゃんではありませんが、生活が赤ちゃんを中心に変わることが分かりました。

例えば、赤ちゃんを育てるのにはリビングが良い、ということで姉が布団を敷きました。甥がおとなしい隙について少しでも寝るためだそうなんです。そうすると私を含めた家族は、自由にリビングで過ごす事はできなくなります。

赤ちゃんが優先になる事で私を含め家族の生活リズムに様々な変化がございまして、それを不満に思った事はございません。それ程に甥は可愛いのです。

2か月間一緒にいると泣き声にも耳が慣れて音楽を聴いている様な感覚で気にならなくなりました。

体の大きさもどんどん大きくなって体重も約2倍になりました。

表情がでてきてニコッと笑うようになり、感情がでてきたのか構ってほしい時に軽く泣いて、抱っこするとピタッと泣き止みます。



凄く寂しいですが、これからは叔父さんとして甥の成長を見守っていきたくと思います。

そして「お前はまだなのか」という祖父の無言のプレッシャーにも応えなければと思いました。

天使のような赤ちゃん☆

